



# NEWS RELEASE

株式会社 **平和堂**

〒522-8511 滋賀県彦根市西今町1番地

2023年12月8日

「琵琶湖八珍」と「琵琶湖システム」を五感で味わう

## 親子漁業体験モニターツアー実施のお知らせ

～持続可能な琵琶湖の魅力を感じるガストロノミーツアー～



エリ漁（イメージ）

株式会社平和堂（滋賀県彦根市、代表取締役社長執行役員：平松正嗣）は、2023年12月16日（土）と17日（日）の2日間にわたり、琵琶湖が育む湖魚「琵琶湖八珍」を五感で味わい、世界農業遺産「琵琶湖システム」を体感する、親子漁業体験モニターツアーを実施しますのでお知らせいたします。

このツアーは、観光庁公募事業「インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業」の一環として、インバウンドの来県促進とあわせて、近年漁獲量が回復してきた湖魚の需要喚起と持続可能な農林水産業の仕組みである「琵琶湖システム」の周知を目的に企画したツアーです。

今回は、事前にご応募いただいた「らぶきっず」会員様のなかから19組38名をご招待します。ツアーでは、大津市の漁業者・飲食店・交通事業者と連携し、未来を担う子ども達に「エリ漁」の体験と湖魚料理の昼食を提供することで「琵琶湖システム」を五感で味わっていただきます。

今後はモニターの皆様のご意見を取り入れながら、より魅力あるツアーとして多言語化することで国内のみならず外国人観光客の方にも体験していただける観光コンテンツへとブラッシュアップしていきます。平和堂は、これからも次代を担うお子様の健やかな成長をサポートするとともに、様々な恵みをもたらす琵琶湖や持続可能な農林水産業システムへの関心を高めることで地域のサステナビリティに貢献してまいります。

## 1. ツアーの概要

- 実施日 : 2023年12月16日(土)、17日(日)  
各日 午前の部・午後の部の計4回開催
- 参加者 : 小中学生の親子19組38名様  
(平和堂アプリよりお申込みのらぶきっず会員様の中から抽選)
- 場所 : 和邇漁港

### <ツアー内容>

- 若手漁師さんと琵琶湖へ！千年以上続く環境にやさしい伝統漁法「エリ漁」を体験  
(雨天・強風の場合は、琵琶湖の恵みや自然環境について学べる教室を開催)
- 琵琶湖の恵みをいただく「琵琶湖八珍弁当」の昼食
- 「鮎かりんとう」のおやつ付き！

### <タイムスケジュール>

#### 午前の部

- |             |          |
|-------------|----------|
| 9:30        | 集合       |
| 10:00～12:00 | エリ漁体験    |
| 13:00～      | 昼食・アンケート |
| 14:30       | 解散       |

#### 午後の部

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 11:30       | 集合          |
| 12:00       | 昼食          |
| 14:00～16:00 | エリ漁体験・アンケート |
| 16:30       | 解散          |

## 2. ツアー実施の背景

### ■滋賀県と観光

京都駅から電車で10分の大津市は、京都観光の際の宿泊地として需要が高まっているものの、域内観光を伴わない場合が多いという現状があります。EXPO2025大阪・関西万博を控えた今こそ、国内外の旅行者に向けて滋賀県が目的地となる旅を提案することが大切と考え、平和堂旅行センターでは滋賀県にとって大きな観光資源である琵琶湖の魅力を存分に感じていただくことのできるツアーの開発に取り組んでいます。

### ■琵琶湖とエリ漁

琵琶湖の湖魚は外来魚の繁殖や水質の変化により漁獲量が一時減少していたため、その希少性から高級食材となっており、県民でも口にする機会が減少していました。近年、外来魚の駆除や環境改善の効果で漁獲量は回復傾向にあるものの、認知度が低く需要が伸びないため、漁業者の減少に歯止めがかかっていません。

その琵琶湖で行われる代表的な漁法である「エリ漁」は、湖辺の水田やヨシ帯に向かう湖魚の生態、琵琶湖の水流などを巧みに利用しながら発展し、人々に湖の幸をもたらしてきました。「エリ漁」は、伝統的な「待ちの漁

法」の代表格で、水産資源の保全に配慮する社会的な仕組みとともに現代に受け継がれてきました。また、多様な主体による水源林の保全や、琵琶湖の環境に配慮した農業など、水質や生態系を守る人々の取り組み、森林・河川・水田・湖のつながりは、世界的にも貴重なものです。このような琵琶湖の伝統や生態系が失われないう、平和堂では琵琶湖固有の魚の販売を通じた生産者支援や、びわ湖の日のイベントの開催など、地域の皆様とともに様々な取り組みを進めています。

### 3. 琵琶湖システムとは

琵琶湖周辺の農業と伝統漁業、水源林の保全、滋賀の伝統野菜など琵琶湖を中心とした生物と共存する持続的な農林水産業の仕組みの総称です。「琵琶湖と共生する農林水産業」は千年以上の歴史を有するもので、「森・里・湖に育まれる漁業と農業が織りなす『琵琶湖システム』」として、2022年7月に世界農業遺産に認定されました。

【平和堂は7月1日の「びわ湖の日」を盛り上げます！ ニュースリリース】

[https://www.heiwado.jp/assets/img/news/2023/pdf/0630\\_biwako.pdf](https://www.heiwado.jp/assets/img/news/2023/pdf/0630_biwako.pdf)

【平和堂グループのサステナビリティ・ビジョン】

<https://www.heiwado.jp/assets/img/pages/hr/report/pdf/2023/report07.pdf>



以上